

『中国研究集刊』 電子版 学会指定書式の使用方法

2020.8.1 大阪大学中国学会事務局

※投稿規定については、以下をご確認ください。

<https://www.chugoku-kenkyu-shukan.org/posting-rules/>

- ・分量は、本文・注・図版等をあわせ、学会指定書式で 20 頁程度までとしてください。
(大幅な超過が見込まれる場合は、事務局までご連絡ください。)
- ・文字・記号等は、Unicode で表示できる範囲内で作成し、機種依存文字や脚注機能、ワープロソフト独自の機能は使用しないでください。
- ・外字は画像として貼り付けてください。
- ・画像データは、電子版として表示できる程度の解像度を考慮し、該当箇所に入れてください。
- ・学会指定書式（一太郎または Word）に従って、入力してください。
フォントの種類とサイズは、以下の通りです。

タイトル	MS 明朝	20 ポイント
サブタイトル	MS 明朝	16 ポイント
	※「一★★」で統一。サブタイトルがない場合は詰めずに空白に。	
氏名	MS 明朝	18 ポイント
	※文字の間には半角スペース、姓名の間には全角スペースを入れる。 訳者名等を入れる場合は、執筆者名の左側に入力。 (掲載決定後、事務局で編集・調整いたします。)	
章・節の見出し	MS ゴシック	10.5 ポイント
本文	MS 明朝	10.5 ポイント
注番号	MS 明朝	8 ポイント
注および附記	MS 明朝	9 ポイント

- ・各章の見出しは、「一 ★★★」「二 ●●●」(フォントはMS ゴシック)に統一してください。各節等の見出しは、執筆者にお任せします。(例:「**第一節 ▲▲▲**」、「(一) ■■■」など)
- ・注番号((注1)(注2)等)は、書式末尾のものをコピー&ペーストでご使用ください。未使用の注番号は削除してください。
- ・本文での引用文は二字下げとし、その際には原則、前後一行アキにしてください。(注での引用は、アキなしで可。)
- ・テキストデータを流し込むと、字間が自動的に変わってしまうことがあります。その場合は、以下のように設定をお願いいたします。

【Word】 範囲をドラッグ→右クリック「フォント」→文字間隔「狭く」→0.8pt

【一太郎】 範囲をドラッグ→右クリック「フォント・飾り」→字間→0%

- ・図表は、学会指定書式の一例を参考に挿入してください。適宜、アレンジしていただいて構いません。
- ・一太郎で矢印を入力した場合、PDF に変換すると方向が変わってしまいます。一太郎での入力時と印刷・PDF 化した際の向きへの対応は、以下の通りです。

〔一太郎入力時〕	〔印刷・PDF〕
→ (右向き)	↓ (下向き)
↑ (上向き)	→ (右向き)
← (左向き)	↑ (上向き)
↓ (下向き)	← (左向き)
- ・初の電子版である第 66 号より、各論考の末尾に執筆者紹介（プロフィール）を記載していただくことになりました。以下の情報をご提供ください。

【執筆者紹介】※ 1 名につき 200 字程度の紹介文を以下の順で記載。

ご氏名（ふりがな）

生年、現職（所属・職位）、専門（研究テーマ）、主要業績 2～3 点（著作、論文、翻訳等）。

《記載例》

大阪 太郎（おおさか・たろう）

一九八〇年生まれ。大阪大学大学院文学研究科助教（※院生の場合、「大阪大学大学院文学研究科博士後期課程」等。学振DCとの併記可）。専門は中国古代思想史。共著に『中国思想基本用語集』（湯浅邦弘編著、ミネルヴァ書房、二〇二〇年三月）、主要論文に「清華簡『治邦之道』の思想的特質」（『中国研究』第五〇号、二〇一九年六月）など。

もし何かご不明な点等がございましたら、事務局までお問い合わせください。

以上